

令和4年第1回定例会（2月議会）  
建設部 提出資料（2月24日）

建設委員会・分科会

【議案関係】

- |         |                            |       |
|---------|----------------------------|-------|
| ○ 建設政策課 | 秋田県土地開発公社定款の一部を改正する定款案について | ・・・ 1 |
| ○ 都市計画課 | 秋田県立都市公園条例の一部を改正する条例案について  | ・・・ 4 |



# 秋田県土地開発公社定款の一部を改正する定款案について

令和4年2月24日  
建設政策課

## 1 改正理由

秋田県土地開発公社の業務範囲の見直し及び関係法令の改正に伴う所要の規定の整備のため、定款を変更する必要がある。

## 2 改正内容

近年における起業者のニーズ等に合わせ、公社の業務のうち「住宅用地造成事業」等を廃止し、公共用地の「先行取得」及び「取得のあっせん」が主要な業務であることを明示するとともに、所要の字句の追加、訂正等を行う。

## 3 施行期日

今議会での議決を経て、総務大臣及び国土交通大臣の認可を得てからの施行となる。

<p>2 前項の業務のほか、当該業務の遂行に支障のない範囲内において、次に掲げる業務を行う。</p> <p>一 前項第一号の土地の造成（二団の土地に係るものに限る。）  <u>の実施と併せて整備されるべき公共施設又は公用施設の整備で地方公共団体の委託に基づくもの及び当該業務に附帯する業務を行うこと。</u></p> <p>二 国、地方公共団体その他公共的団体の委託に基づき、土地の取得のあつせん、調査、測量その他これらに類する業務を行うこと。</p>	<p><b>（資産）</b>  <b>第二十二條</b> 公社の資産は、基本財産とする。</p> <p>2・3 <b>（略）</b></p> <p><b>（財務諸表及び事業報告書）</b>  <b>第二十五條</b> 公社は、毎事業年度の終了後二カ月以内に財産目録、貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書及び事業報告書を作成し、監事の意見を付けてこれを秋田県知事に提出する。</p> <p><b>（余裕金の運用）</b>  <b>第二十七條</b> 公社は、次の方法によるほか、業務上の余裕金を運用してはならない。</p> <p>一 <b>（略）</b></p> <p>二 銀行その他主務大臣の指定する金融機関への預金</p>
<p>2 前項の業務のほか、当該業務の遂行に支障のない範囲内において、次に掲げる業務を行う。</p> <p>一 前項第一号の土地の造成（二団の土地に係るものに限る。）又は同項第二号の事業の実施と併せて整備されるべき公共施設又は公用施設の整備で地方公共団体の委託に基づくもの及び当該業務に附帯する業務を行うこと。</p> <p>二 国、地方公共団体その他公共的団体の委託に基づき、土地の取得のあつせん、調査、測量その他これらに類する業務を行うこと。</p>	<p><b>（資産）</b>  <b>第二十二條</b> 公社の資産は、基本財産及び運用財産とする。</p> <p>2・3 <b>（略）</b></p> <p><b>（財務諸表及び事業報告書）</b>  <b>第二十五條</b> 公社は、毎事業年度の終了二カ月以内に財産目録、貸借対照表、損益計算書及び事業報告書を作成し、監事の意見を付けてこれを秋田県知事に提出する。</p> <p><b>（余裕金の運用）</b>  <b>第二十七條</b> 公社は、次の方法によるほか、業務上の余裕金を運用してはならない。</p> <p>一 <b>（略）</b></p> <p>二 郵便貯金又は銀行その他主務大臣の指定する金融機関への預金</p>

秋田県土地開発公社定款新旧対照表

新	旧
<p>(役員の職務及び権限)</p> <p>第七条 (略)</p> <p>2・3 (略)</p> <p>4 監事は、公有地の拡大の推進に関する法律（以下「法」という。） 第十六条第八項の職務を行う。</p> <p>(議決事項)</p> <p>第十九条 次に掲げる事項は、理事会の議決を経なければならない。</p> <p>一 三 (略)</p> <p>四 毎事業年度の財産目録、貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書及び事業報告書</p> <p>五 七 (略)</p> <p>2 (略)</p> <p>(業務の範囲)</p> <p>第二十条 公社は、第一条の目的を達成するため、次の業務を行う。</p> <p>一 次に掲げる土地の取得、造成その他の管理及び処分を行うこと。</p> <p>イ 法 第四条第一項又は第五条第一項に規定する土地</p> <p>ロ 道路、公園、緑地その他の公共施設又は公用施設の用に供する土地</p> <p>ハ 公営企業の用に供する土地</p> <p>ニ 都市計画法第四条第七項に規定する市街地開発事業の用に供する土地</p> <p>ホ 観光施設事業の用に供する土地</p> <p>ヘ 当該地域の自然環境を保全することが特に必要な土地</p> <p>ト 史跡、名勝又は天然記念物の保護又は管理のために必要な土地</p> <p>チ 航空機の騒音により生ずる障害を防止し、又は軽減するために必要な土地</p> <p>二 前号の業務に附帯する業務を行うこと。</p>	<p>(役員の職務及び権限)</p> <p>第七条 (略)</p> <p>2・3 (略)</p> <p>4 監事は、民法第五十九条の職務を行なう。</p> <p>(議決事項)</p> <p>第十九条 次に掲げる事項は、理事会の議決を経なければならない。</p> <p>一 三 (略)</p> <p>四 毎事業年度の財産目録、貸借対照表、損益計算書及び事業報告書</p> <p>五 七 (略)</p> <p>2 (略)</p> <p>(業務の範囲)</p> <p>第二十条 公社は、第一条の目的を達成するため、次の業務を行う。</p> <p>一 次に掲げる土地の取得、造成その他の管理及び処分を行うこと。</p> <p>イ 公有地の拡大の推進に関する法律第四条第一項又は第五条第一項に規定する土地</p> <p>ロ 道路、公園、緑地その他の公共施設又は公用施設の用に供する土地</p> <p>ハ 公営企業の用に供する土地</p> <p>ニ 都市計画法第四条第七項に規定する市街地開発事業の用に供する土地</p> <p>ホ 観光施設事業の用に供する土地</p> <p>ヘ 当該地域の自然環境を保全することが特に必要な土地</p> <p>ト 史跡、名勝又は天然記念物の保護又は管理のために必要な土地</p> <p>チ 航空機の騒音により生ずる障害を防止し、又は軽減するために必要な土地</p> <p>二 住宅用地の造成事業並びに港湾整備事業（埋立事業に限る。）並びに地域開発のためにする臨海工業用地、内陸工業用地及び流通業務団地の造成事業を行うこと。</p> <p>三 前二号の業務に附帯する業務を行うこと。</p>

# 秋田県立都市公園条例の一部を改正する条例案について

令和4年2月24日

都市計画課

## 1 改正理由

都市公園の設備及び器具の使用の実態等に鑑み、これらの一部について廃止する必要がある。

## 2 改正内容

次に掲げる都市公園の設備及び器具の使用を廃止することとする。(別表関係)

- (1) 秋田県立小泉潟公園  
バドミントンラケット
- (2) 秋田県立中央公園  
乾燥機、バッテングゲージ、硬式野球用審判用具、ビデオカメラ、  
モニターテレビ、ビデオテープレコーダー及びバッテングマシン
- (3) 秋田県立北欧の杜公園  
モニターテレビ、ビデオテープレコーダー、  
オーバーヘッドプロジェクター、スライド用映写機及び移動式黒板

## 3 施行期日

この条例は、令和4年4月1日から施行することとする。

備考 略	略	略	区分	略	略	備考 略	略
	略						略

(3) 器具使用料

(1)・(2) 略

(三) 秋田県立北欧の杜<sup>もり</sup>公園

(4) 略

備考 略	略	略	区分	略	略	備考 略	モニターテレビ
	略						一台一時間につき 一七〇円
備考 略	移動式黒板	略	略	略	略	備考 略	ビデオテープレコーダー
	一台一時間につき 一一〇円						一台一時間につき 一七〇円
備考 略	スライド用映写機	略	略	略	略	備考 略	バッテリーマシ
	一式一時間につき 一一〇円						一台一時間につき 四七〇円
備考 略	オーバーヘッドプロジェクター	略	略	略	略	備考 略	ビデオテープレコーダー
	一式一時間につき 一七〇円						一台一時間につき 一七〇円
備考 略	モニターテレビ	略	略	略	略	備考 略	モニターテレビ
	一台一時間につき 一七〇円						一台一時間につき 一七〇円

(3) 器具使用料

(1)・(2) 略

(三) 秋田県立北欧の杜<sup>もり</sup>公園

(4) 略

秋田県立都市公園条例の一部を改正する条例案新旧対照表

新		旧	
<p>別表（第十四条、第二十三条関係）</p> <p>一 三 略</p> <p>四 都市公園の公園施設等を使用する場合の使用料</p> <p>(一) 秋田県立小泉潟公園</p> <p>(2) (1) 略</p> <p>(2) 器具使用料</p> <p>区分</p> <p>略</p> <p>略</p> <p>使用料の額</p>		<p>別表（第十四条、第二十三条関係）</p> <p>一 三 略</p> <p>四 都市公園の公園施設等を使用する場合の使用料</p> <p>(一) 秋田県立小泉潟公園</p> <p>(2) (1) 略</p> <p>(2) 器具使用料</p> <p>区分</p> <p>バドミントンラケット</p> <p>一本一回につき 二六〇円</p> <p>略</p> <p>使用料の額</p>	
<p>(二) 秋田県立中央公園</p> <p>(1) 略</p> <p>(2) 附属施設・設備使用料</p> <p>区分</p> <p>略</p> <p>略</p> <p>使用料の額</p>		<p>(二) 秋田県立中央公園</p> <p>(1) 略</p> <p>(2) 附属施設・設備使用料</p> <p>区分</p> <p>乾燥機</p> <p>一回につき 一〇〇円</p> <p>略</p> <p>略</p> <p>使用料の額</p>	
<p>備考 略</p> <p>(3) 器具使用料</p> <p>区分</p> <p>使用料の額</p>		<p>備考 略</p> <p>(3) 器具使用料</p> <p>区分</p> <p>バット・テングゲージ</p> <p>一式一試合につき 三七〇円</p> <p>硬式野球用審判用具</p> <p>一式一試合につき 三七〇円</p> <p>ビデオカメラ</p> <p>一台一時間につき 二六〇円</p> <p>使用料の額</p>	